

# 春

やわらかな陽射し、草花の芽吹き



吉野の春を彩るヤマサクラ  
(吉野熊野国立公園) (1)



湿原のミズバショウ (尾瀬国立公園) (2)  
ミヤマキリシマと九重連山 (阿蘇くじゅう国立公園) (3)



隠岐の島海霧の岬 (大山隠岐国立公園) (4)

**COLUMN**  
サクラ前線

3月下旬、九州・四国の南部でサクラが開花すると、人々は、日本各地の開花予想日を結んだ「サクラ前線」の動きに関心を寄せます。この前線は、日本列島を約1ヵ月半かけてゆっくりと北上していきます。いっせいに花開くその華やかさを心待ちにし、数日後には散り始めるそのはかなさや散り方の美しさにもまた、魅了されるのです。





湿原を下る釧路川(釧路湿原国立公園) (4)



多島海の夏(瀬戸内海国立公園) (3)

サンゴの海に浮かぶ八重山の島々(西表石垣国立公園) (5)



# 夏

海・山の輝き、  
生命の謳歌



いのち育むケラマブルーの碧い海  
(慶良間諸島国立公園) (1)

北アルプス白馬岳山頂付近に広がる花の絨毯  
(中部山岳国立公園) (2)



朝日連峰主稜線のお花畑(磐梯朝日国立公園) (6)

(写真: 1) 宮里清司 2) 高橋毅 3, 4, 5) 森田敏隆 6) 佐竹伸一)

## COLUMN

### 天上の楽園「お花畑」

夏は登山のシーズン。中部以北の山々では、お花畑との出会いは登山の楽しみの一つです。山道をひたすら登っていくと、やがて森林が消え目の前に色とりどりの高山植物がカーペットのように広がるお花畑が出現します。低温、強風、長い積雪など高山の厳しい環境条件に適応しつつ生きている高山植物は、ほとんどが夏の限られた期間に、いっせいに花を咲かせます。過酷な自然の中でたくましく生きている可憐な姿は、登山者の記憶に刻みこまれる光景です。



コマクサ



# 秋

清流の冴え、野や森の彩り

紅葉の池塘から望む旭岳（大雪山国立公園）(1)



瀬戸内の秋の夕暮れ（瀬戸内海国立公園）(2)



鏡池から見た戸隠連峰（妙高戸隠連山国立公園）



「草もみじ」とカラマツ林（日光国立公園）(3)

紅葉と竜頭の滝（日光国立公園）(4)



## COLUMN

### 紅葉を求めて

落葉広葉樹林が多くしかも樹種が豊富な日本は、紅葉が最も美しい国とされています。カエデ、カツラ、ナナカマドなど、さまざまな落葉樹が微妙に変化する紅や黄の色に染まり、秋の山肌を埋め尽くしていきます。紅葉の鮮やかさは、寒暖の差や水条件などによって左右され、同じ場所でも年によって変わります。1000年も前から日本人は紅葉を求めて野山に出かけてきました。十和田湖・奥入瀬溪流や奥日光などでは、秋の紅葉の頃が一年でもっともにぎわうシーズンです。

